

文部科学省補助事業「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

## 令和6年度 新潟市地域と学校パートナーシップ事業の取組

### 1 事業の目的

本事業は、学校がさらなる学校教育活動の充実を図るとともに、豊かなコミュニティづくりのため、地域に開かれ、地域とともに歩むことができるように、学校と社会教育施設、地域との様々な活動を結ぶネットワークづくりや協働事業を実施し、学・社・民の融合による教育を進めることを目的とする。

### 2 今年度の活動と実績

#### (1) 地域教育コーディネーターの勤務

##### 地域教育コーディネーターの職務

- 1 学校や地域団体、社会教育施設等との連絡、調整に関すること
- 2 学校支援ボランティアの組織、整備に関すること
- 3 学校における地域の学びの拠点づくりに関すること
- 4 その他、事業の推進に関すること

##### 1校当たりの年間勤務時間標準配当

小学校 9学級以下…585時間、10～19学級…635時間、20学級以上…675時間  
30学級以上…695時間  
中学校 9学級以下…480時間、10～19学級…530時間、20学級以上…570時間  
30学級以上…590時間  
中等教育学校…850時間 特別支援学校…635時間 高等学校…400時間

##### 特別な出務に対する追加配当

複数制実施…10時間、新任地域教育コーディネーター…4時間、研修幹事…8時間

##### 再配当

再配当を希望した81校に15時間を配当。コーディネーター複数配置校(4校)には年度末の打合せの時間として10時間を加えて配当(合計40時間)

#### <実施校数>

平成25年度に、市内全小・中・中等教育・特別支援学校での全校実施となった。  
令和2年度より高等学校2校を含む全ての市立学校(166校)で実施。

#### <地域教育コーディネーター数>

令和6年度の、コーディネーター数は、337人。(令和7年2月5現在)

## (2) 本事業にかかる研修

### ①全体研修

	開催日	会場	概要
第1回 研修会	令和6年5月22日(水) 中央・江南区	黒崎市民会館	1 公民館、図書館との連携 2 今年度の事業方針の説明 3 各区で顔合わせ・情報交換および 研修計画づくり  (地域連携担当教職員、地域教育コーディネーター、 学校運営協議会長を対象)
	令和6年5月23日(木) 北・東区	東区プラザ	
	令和6年5月29日(水) 西・西蒲区	黒崎市民会館	
	令和6年5月30日(木) 秋葉・南区	黒崎市民会館	
第2回 研修会	令和6年7月31日(水) 新任校長対象	総合教育センター	「コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進」
第3回 研修会	令和6年11月12日(火) 北・東・中央・江南区 小学校・特別支援学校	黒崎市民会館	1 公民館、図書館との連携の実際 2 コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進 3 今後のパートナーシップ事業推進  (地域連携担当教職員、地域教育コーディネーター を対象)
	令和6年11月14日(木) 秋葉・南・西・西蒲区 小学校・特別支援学校	黒崎市民会館	
	令和6年11月19日(火) 中学校・中等教育・高等学校	黒崎市民会館	

### ②新任地域教育コーディネーター研修

	開催日	会場	概要
第1回 研修会	令和6年4月22日(月)	黒崎市民会館	1 地域教育コーディネーターの職務 2 グループワーク
第2回 研修会	令和7年1月22日(水)	黒崎市民会館	1 職務の振り返り(成果と課題) 2 情報交換

### ③研修幹事会

回	開催日	会場	概要
第1回 幹事会	令和6年6月26日(水)	黒崎市民会館	研修企画の方法 情報交換 ※ 区ごとに連絡・調整をして実施
第2回 幹事会	令和7年1月24日(金)	黒崎市民会館	区研修の総括 情報交換 ※ 区ごとに連絡・調整をして実施

### ④区ごとの研修

研修会	会場	概要
区研修	区役所、公民館など	各区の創意工夫による研修 (実施回数は区により異なる)

⑤ 教職員研修

	研修会名	開催日	対象	実施方法 指導者など
1	新任教頭・主幹教諭研修	4月15日	新任教頭・主幹	資料（スライド投影）説明
2	学校運営マネジメント研修	4月24日	校長	資料（スライド投影）説明
3	中堅教諭等資質向上研修	6～8月	教職員	オンデマンド方式で実施 (説明の音声つき動画の配信)
4	新任事務職員研修	7月12日	新任事務職員	資料（スライド投影）説明
5	ミドルリーダー研修	11月6日	教職員 教職大学院生	資料（スライド投影）説明

(3) 本事業にかかる調査

① 新潟市生活・学習意識調査	令和6年11月
② CSと地域と学校パートナーシップ事業に関する調査	令和6年12月
③ 国及び市への事業報告書(地域学校協働活動本部)	令和7年1～2月
④ 勤務実態調査(地域教育コーディネーター)	令和6年11月

(4) 受賞 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」文部科学大臣表彰  
令和4年度より隔年で実施

別紙1を参照

※ 運営協議会の当日資料として、「市生活・学習意識調査結果」、「CSと地域と学校パートナーシップ事業に関する調査結果」、「勤務実態調査」、「今年度の成果と課題」を提示いたします。

令和 6 年度

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」文部科学大臣表彰

- 表彰対象… 鎧郷小学校  
青山小学校  
鳥屋野中学校
- 授賞式 … 令和 7 年 2 月 2 8 日 (金)
- 会場 … 文部科学省 3 階講堂

～受賞団体と取組概要～

【鎧郷小学校】

取組名 「地域を学び、地域に学ぶ活動を通して、人・もの・ことに『自らかかわる』子ども、地域を愛する心の育成」

- 学校運営協議会委員（以下、委員）による学習参観を通して、実際の児童の姿から取組を価値づけられるようにしている（PDCA サイクルを生かした協議会運営）。
- 農園そら野テラスとのコラボメニュー（郷を元気にするカレー）の開発および販売促進方法について、児童が地域や委員と協議して、開発及び販売を実現させた。
- 地域と関わりながら学んだ活動の発表、地域に引き継がれている「傘ぼこ踊り」や「代官太鼓」演奏を児童も交えて文化祭で行い、地域を愛する心を育成する場を設けている。

【青山小学校】

取組名 「『青山最高！』児童が誇れる安心・安全な地域・学校づくり」

- 地域の人的・物的資源を生かし、児童が誇れる安心・安全な地域・学校づくりを推進している。
- 毎回、会長・副会長・学校が事前打ち合わせを行ったり、委員へ事前に協議内容を伝え、意見集約や事前アンケートを行ったりすることを通して、効率的な学校運営協議会の運営に努めている。
- 担当者同士の情報共有、情報交換などに SNS を活用することで、連続的・即自的な熟議が可能になり、より自主的・主体的な活動へとつながっている。
- 「部会」を設置（R5～）し、学校運営協議会主導のもと、テーマに応じた人選、取組・行事の立案、運営の中核を担う体制を整えている。
- R5 は安心・安全マップの見直しを行い、R6 は身近な防災体験を実施した。

【鳥屋野中学校】

取組名 「地域が主体となって中学生が様々なスポーツや文化活動に取り組める環境の保証を目指して」

- 委員として、学校運営の改善や地域の連携を進めるための経験や知識をもった人材を選定した。情報収集力と発信力を備えている協議会である。
- 学校運営協議会による部活動の地域移行に向けた課題やニーズの収集、整理、クラブチームの仕組み周知等を行い、パートナーシップ事業による運営組織や見守り体制、指導体制など実際の仕組みづくりにつなげた。
- 18 部活動中、11 部がクラブチーム移行を完了した（現在も進行中）。

## 1 成果と課題

### (1) 児童生徒にとって

令和6年度新潟市生活・学習意識調査の中で地域と学校パートナーシップ事業に関連のある項目は以下の3つである。

ア 地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。

イ 地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きです。

ウ 地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かたり、できたりすることがよくあります。

それぞれの項目について、以下のような結果が見られた。

	ア		イ		ウ	
	小	中・中等	小	中・中等	小	中・中等
R 6	84.7%	83.1%	82.6%	72.8%	79.4%	73.5%
R 5	84.4%	81.3%	82.6%	72.5%	79.0%	73.2%
R 4	85.1%	81.6%	82.4%	75.6%	79.9%	73.1%

※肯定的評価（「あてはまる」「ややあてはまる」の合計）の数値

※「小」は小学校、「中」は中学校、「中等」は中等教育学校

これらの結果から、学習や体験活動で、児童生徒が地域の大人とかかわることで、認められる場や褒められる機会が増え、自己有用感の育成につながったと言える。ただし、イとウについては80%を下回っていることから、今後、各学校で教育課程や地域と学校パートナーシップ事業の見直しの際に、今まで以上に地域住民や地域素材を活用した活動を取り入れることができるように働き掛けていく必要がある。

### (2) コミュニティ・スクールについて

C S（学校運営協議会）とパートナーシップ事業に関する調査では、学校運営協議会での話合いの質を問う調査項目について、以下のような結果が見られた。

○学校運営協議会では、学校の目指す姿や学校課題、地域課題について、具体的な内容が共有されている。

→肯定的評価 教職員：99.7%（あてはまる80.6% ややあてはまる19.1%）

C S会長：97.8%（あてはまる86.2% ややあてはまる11.6%）

○学校運営協議会では、学校・地域・保護者等が対等な立場で話合いをしている。

→肯定的評価 教職員：98.1%（あてはまる82.9% ややあてはまる15.2%）

C S会長：96.4%（あてはまる88.4% ややあてはまる 8.0%）

この結果から、学校運営協議会において、学校や地域の目標や課題を共有したり、対等な立場での話合いがなされるようになってきたと言える。生涯学習推進課指導主事による計画訪問での助言やC S講座の実施により、教職員や学校運営協議会委員が、学校運営協議会で熟議をしようとする意識が高まったことが要因として考えられる。ただし、生涯学習推進課指導主事による計画訪問では、学校主導であったり学校運営協議会委員が感想を述べるだけにとどまっていたりする学校も見られることから、学校評議員会から脱却できていない協議会と対等な立場での熟議が成立している協議会の二極化が課題と言える。

### (3) 地域と学校パートナーシップ事業について

地域と学校パートナーシップ事業は、今年で18年目を迎え、それぞれの学校で定着し、充実した活動が実施されている。それに加えて、生涯学習推進課指導主事による計画訪問や各区の地域と学校パートナーシップ事業担当指導主事との情報共有から、地域と学校パートナーシップ事業が学校課題の解決に寄与している事例が数多く見られた。

例えば、休み時間に児童のトラブルが頻発する小学校では、民生児童委員を中心としたボランティアによる校内の見回りを実施し、その結果、休み時間のトラブルの減少と教員の授業準備等の時間確保を実現した事例がある。また、登校はできるが教室に入ることができない児童を対象に適応指導教室を開設し、その見守りを地域のボランティアが担う学校もいくつか見られた。これら2つの取組は、どちらも教員の働き方改革に対しても有効な取組である。

#### ① CSと地域と学校パートナーシップ事業のつながりについて

CSと地域と学校パートナーシップ事業に関する調査では、学校運営協議会と地域と学校パートナーシップ事業のつながりを問う調査項目について、以下のような結果が見られた。

○学校運営協議会で、学校の目指す姿の実現や学校課題の解決、地域課題の解決のために話し合われたことが、地域と学校パートナーシップ事業に生かされている。

→肯定的評価 教職員：93.3%（あてはまる51.4% ややあてはまる41.9%）

CS会長：94.2%（あてはまる58.0% ややあてはまる36.2%）

地域CO：77.5%（あてはまる25.6% ややあてはまる51.9%）

この結果では、教職員とCS会長はとても高い数値だが、地域と学校パートナーシップ事業を中心となって推進している地域教育コーディネーター（地域CO）の数値は15%以上低い。

○学校運営協議会では、学校の目指す姿の実現や学校課題の解決、地域課題の解決のために役割分担が協議されている。

→肯定的評価 教職員：90.9%（あてはまる43.4% ややあてはまる47.5%）

CS会長：84.8%（あてはまる47.8% ややあてはまる37.0%）

この結果を見ると、決して低い数値ではないが、他の項目と比較すると低いことが分かる。学校運営協議会で課題解決の話合いをする際に、役割分担まで協議されていない学校があると言える。生涯学習推進課指導主事による計画訪問でも、課題解決の話合いはされても、その後の具体的な活動にまで話が及ばない学校が見られる。

学校運営協議会で話し合われた内容をすべて地域と学校パートナーシップ事業で実施する必要はないが、役割分担をする中で、地域と学校パートナーシップ事業が担うべき取組についてはしっかりとつなげる必要がある。

#### ② 地域と学校パートナーシップ事業の成果と課題の振り返りについて

CSと地域と学校パートナーシップ事業に関する調査では、地域と学校パートナーシップ事業の成果と課題の振り返りを問う調査項目について、以下のような結果が見られた。

○地域と学校パートナーシップ事業の成果と課題を学校運営協議会で振り返っている。

→肯定的評価 教職員：95.9%（あてはまる65.8% ややあてはまる30.1%）

CS会長：97.8%（あてはまる86.2% ややあてはまる11.6%）

地域CO：82.7%（あてはまる42.2% ややあてはまる40.5%）

この結果では、教職員とCS会長はとても高い数値だが、地域と学校パートナーシップ事業を中心となって推進している地域教育コーディネーターの数値は10%以上低い。このことから、学校運営協議会で地域と学校パートナーシップ事業の取組の共有はなされているものの、成果と課題を明らかにし、次に生かすような話合いが十分に行われていないと推測できる。

## 2 令和7年度の方針

### (1) 重点について

#### 【コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進の目的】

学校、保護者、地域が当事者意識をもち、地域全体で子どもを育てることができるようにコミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進に取り組む。

## 【重点】

各校がCSとパートナーシップ事業をより一体的に推進できるように、一体的推進を定義づけるとともに具体的イメージをもたせる。

☆CSとパートナーシップ事業の一体的推進とは

◎下記ア～オによるPDCAサイクルが機能している状態

ア 学校の目指す姿や学校課題、地域課題の共有

イ 学校・地域・保護者等による対等な立場での話し合い

ウ 役割分担の協議

エ 学校運営協議会で話合われた取組を地域と学校パートナーシップ事業で実践

オ 地域と学校パートナーシップ事業の成果と課題の振り返り

そのために、以下の2点に重点的に取り組む。

### ○コミュニティ・スクール担当とパートナーシップ事業担当との一層の連携

今年度も、コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業を一体ととらえて推進してきた。来年度は、さらに担当同士で連携をするとともに、当課主催の研修も一体的推進に特化したものにしていく。

### ○一体的推進のイメージの構築と質の向上

今年度は、コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進について、学校運営協議会で話し合われた内容を地域と学校パートナーシップ事業で実践することを重点的に周知してきた。今後は、さらに推進するために、より具体的な姿を示す必要があると考え、一体的推進とは上記ア～オによるPDCAサイクルであることを周知していく。さらに、研修会や生涯学習推進課指導主事による学校運営協議会の参観及び助言をとおしてア～オのそれぞれの質を高めていく。

## (2) 研修について

○学校運営協議会の質の向上（上記ア～ウ）を目的として、「CSとパートナーシップ事業の一体的推進の理解を深める資料」を作成し、学校運営協議会の計画づくりに生かしたり、第1回学校運営協議会の最初に参加者で視聴することで、その後の学校運営協議会に対する意識を高めたりする。また、教職員と学校運営協議会委員を対象とした「CS講座」を実施し、実際の協議の進め方について理解を深める。

○学校運営協議会で話し合われた内容が地域と学校パートナーシップ事業で実践され、その成果と課題から改善点を明らかにすること（上記エ～オ）ができるように、地域教育コーディネーターを対象に「CSとパートナーシップ事業研修会」を実施し、実際の進め方について理解を深める。

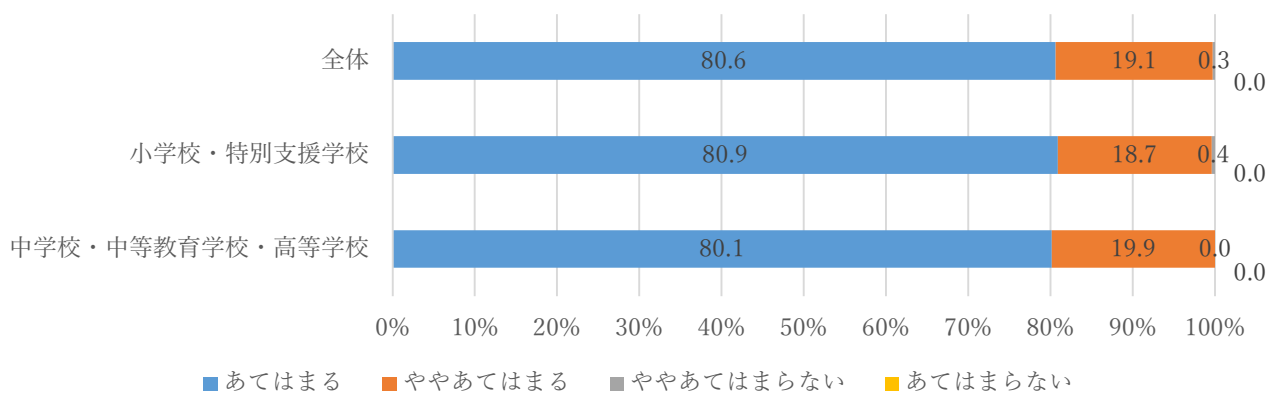
## 3 地域教育コーディネーターの勤務環境について

地域教育コーディネーターから、ボランティアとの連絡手段としてスマートフォン導入の要望があり、来年度からのスマートフォン導入を検討中である。また、地域教育コーディネーターの多忙化を解消するために、複数制を推進している。現在、地域教育コーディネーターが複数在籍する学校は、137校（82.5%）である。他にも、勤務校の管理職に対して業務管理の徹底を促したり、地域教育コーディネーターに対して業務の重点化や「変える」「減らす」「分ける」「やめる」の4つの視点をもって業務を精選するよう働き掛けたりしている。

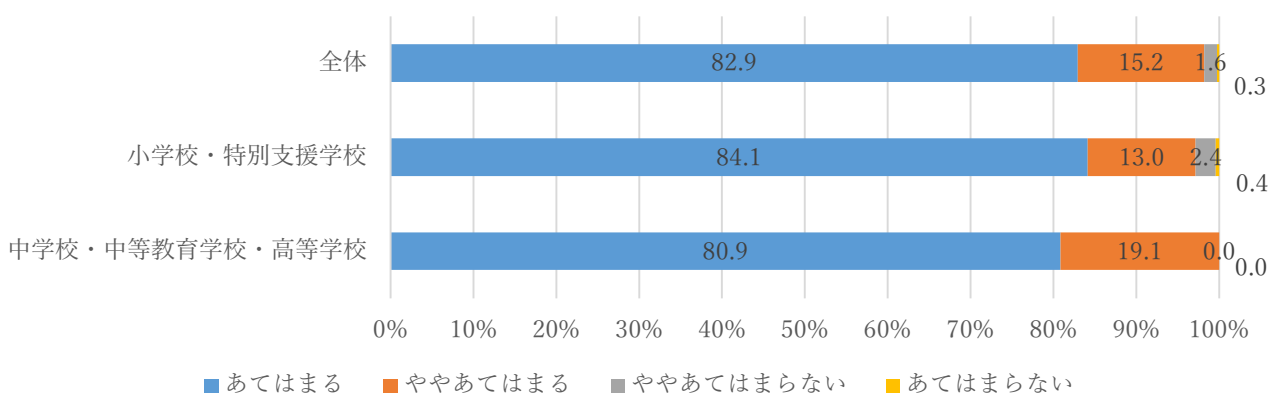
学校現場は、地域教育コーディネーターが不在になると、地域と学校パートナーシップ事業の実施が難しくなる。そのような事態にならないように、複数制の推進と合わせて、令和6年度末で地域教育コーディネーターの兼務を解消することで持続可能な体制づくりを強化していく。

① 管理職

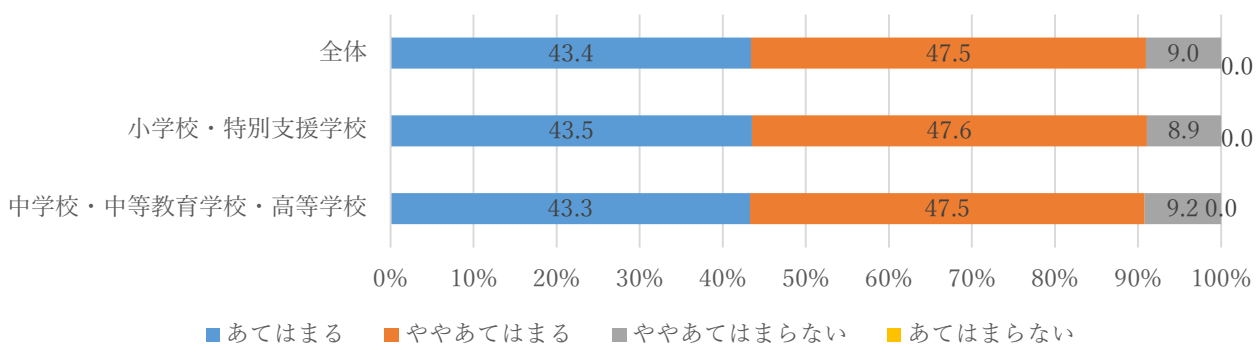
1 学校運営協議会では、学校の目指す姿や学校課題、地域課題について、具体的な内容が共有されている



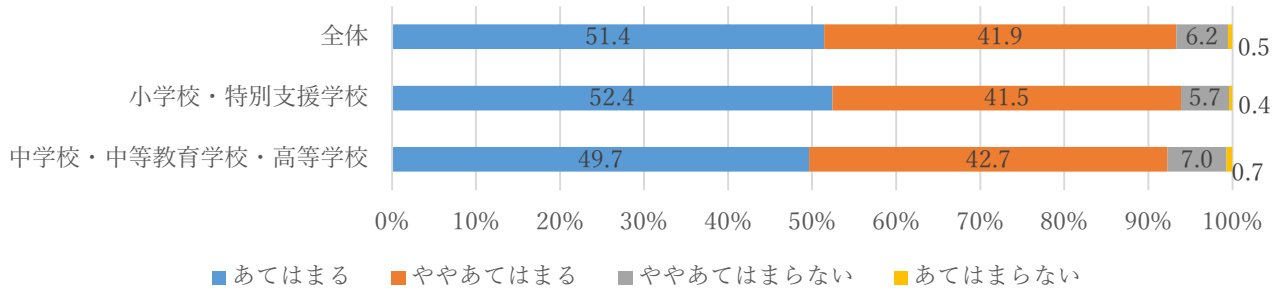
2 学校運営協議会では、学校・地域・保護者等が対等な立場で話し合いをしている。



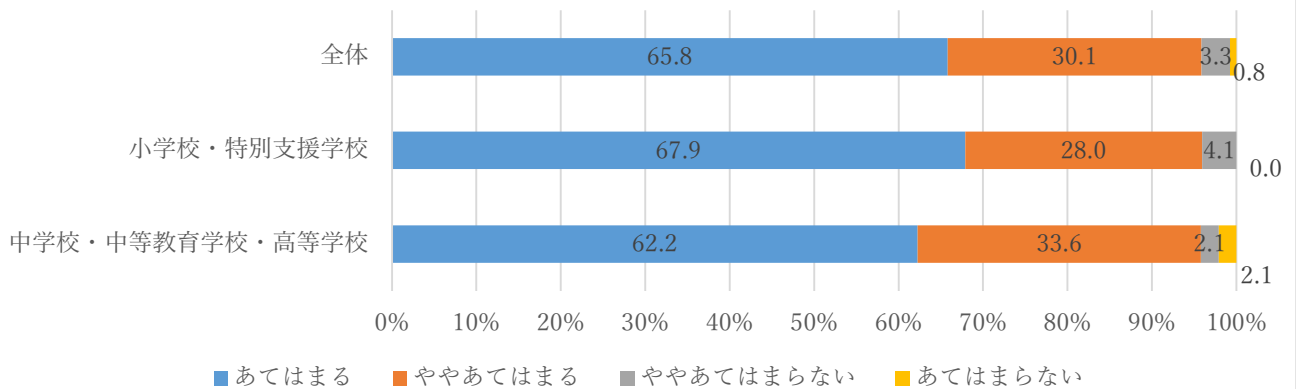
3 学校運営協議会では、学校の目指す姿の実現や学校課題の解決、地域課題の解決のために役割分担が協議されている。



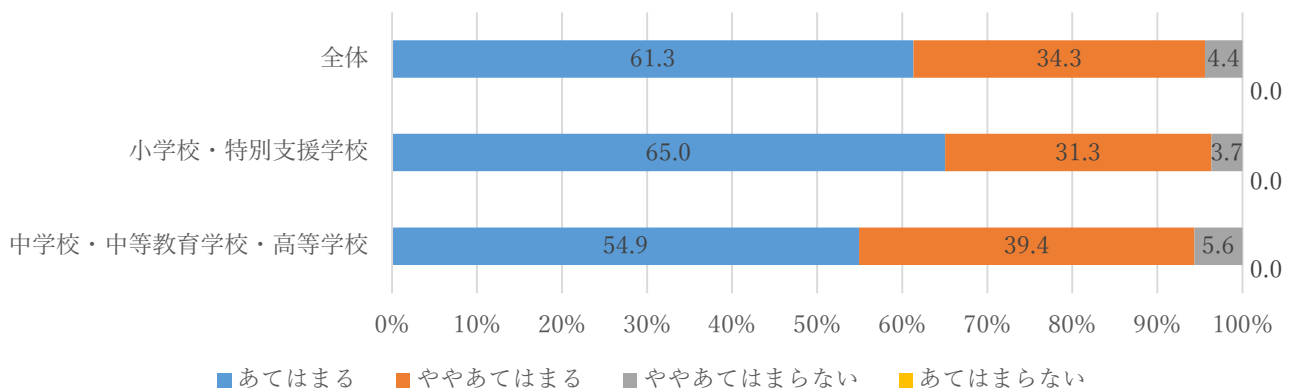
4 学校運営協議会で、学校の目指す姿の実現や学校課題の解決、地域課題の解決のために話し合われたことが、地域と学校パートナーシップ事業に活かされている。（予定も含む）



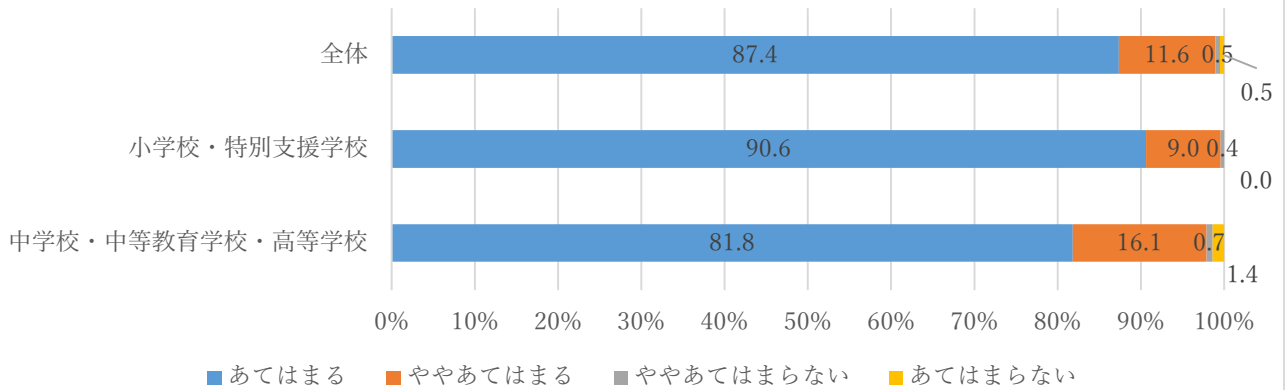
5 学校運営協議会で、地域と学校パートナーシップ事業の成果と課題を振り返っている。（予定も含む）



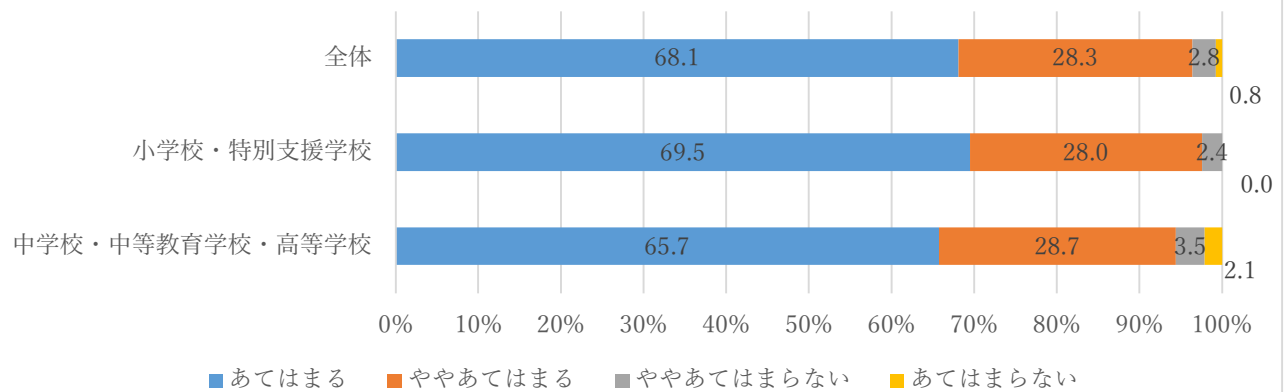
6 学校運営協議会で話し合われた内容を地域や教職員に共有している。



7 地域教育コーディネーターとして求められている職務内容を依頼している。

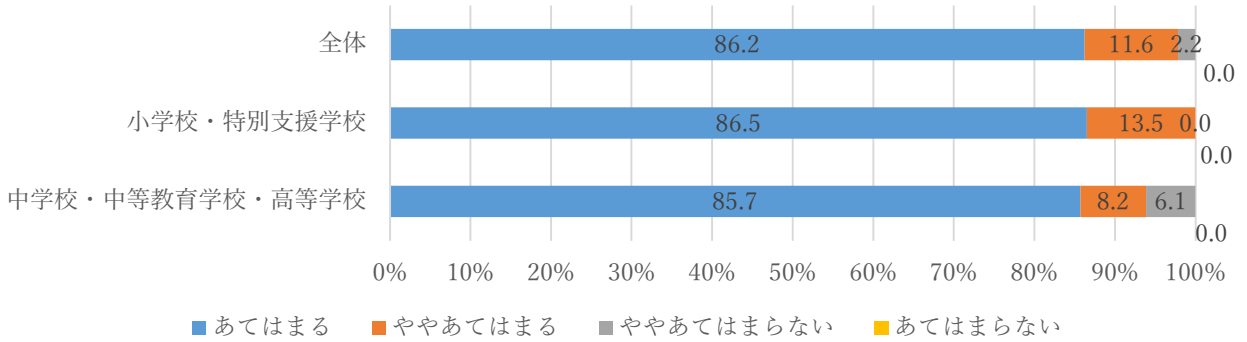


8 地域と学校パートナーシップ事業の充実のために、社会教育施設や企業、地域団体等と連携している。

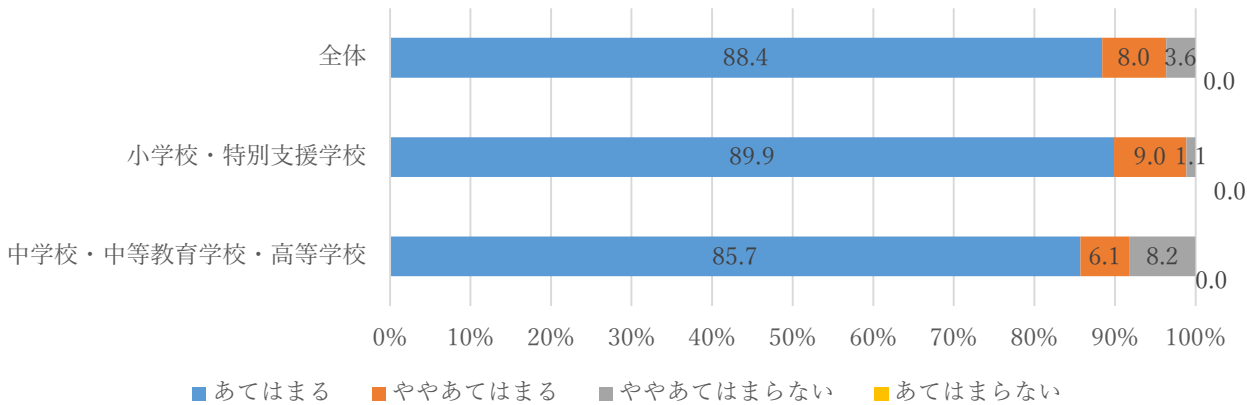


② CS 会長

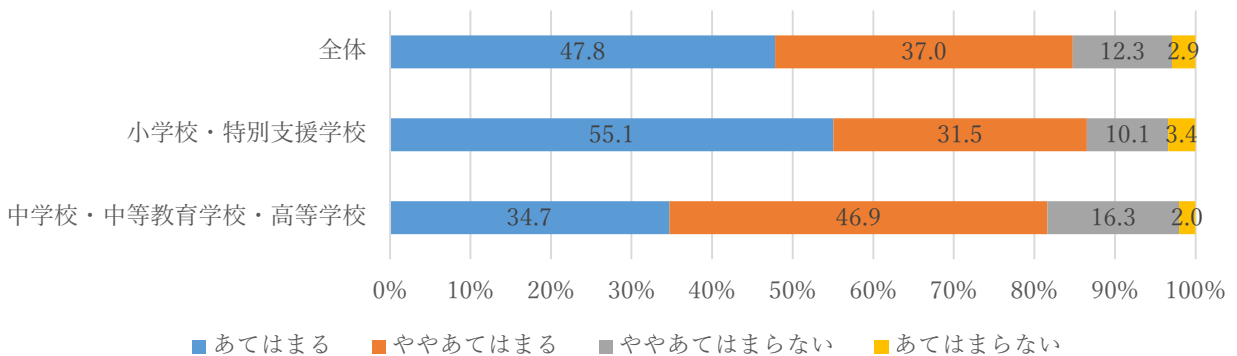
1 学校運営協議会では、学校の目指す姿や学校課題、地域課題について、具体的な内容が共有されている。



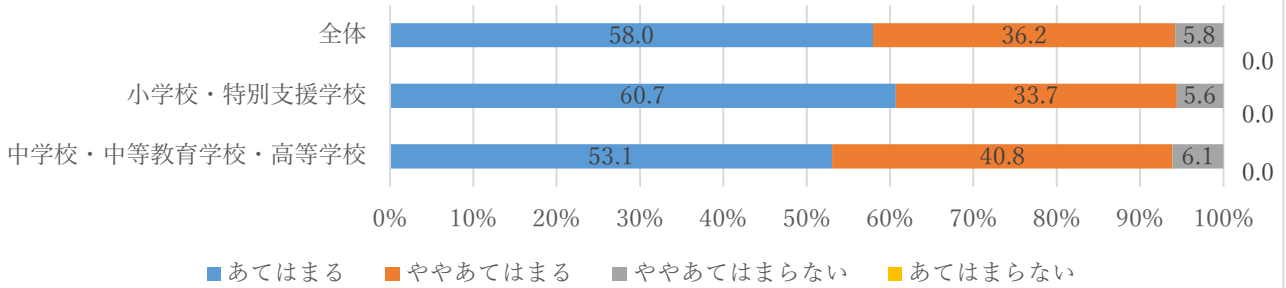
2 学校運営協議会では、学校・地域・保護者等が対等な立場で話し合いをしている。



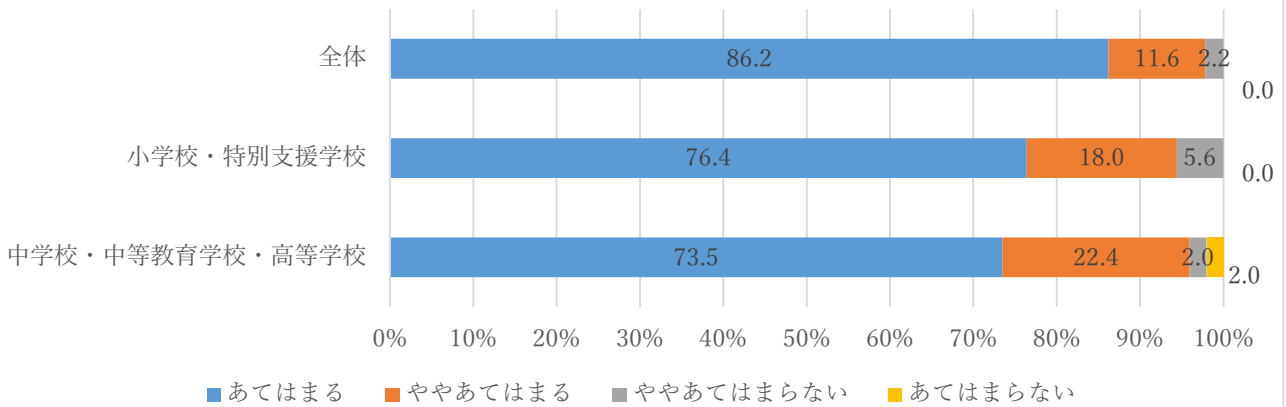
3 学校運営協議会では、学校の目指す姿の実現や学校課題の解決、地域課題の解決のために役割分担が協議されている。



4 学校運営協議会で、学校の目指す姿の実現や学校課題の解決、地域課題の解決のために話し合われたことが、地域と学校パートナーシップ事業に活かされている。（予定も含む）

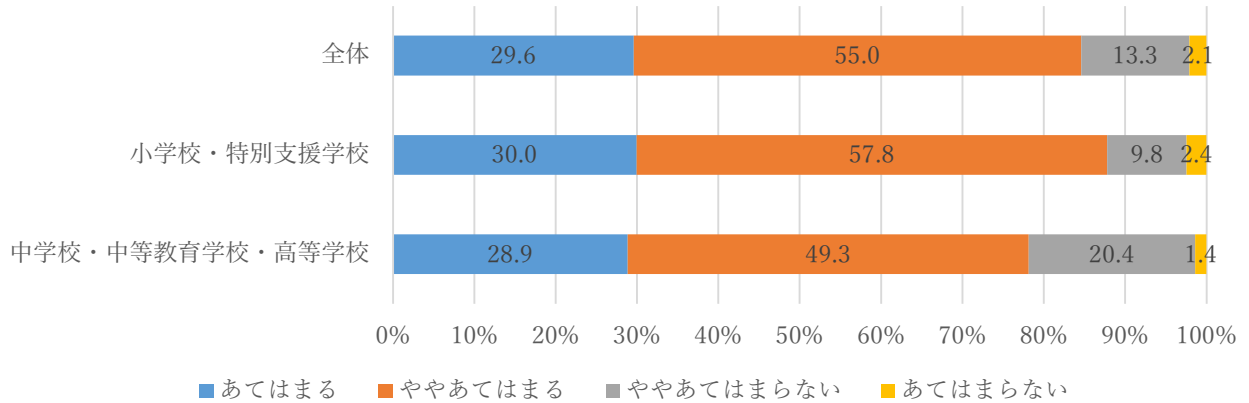


5 学校運営協議会で、地域と学校パートナーシップ事業の成果と課題を振り返っている。（予定も含む）

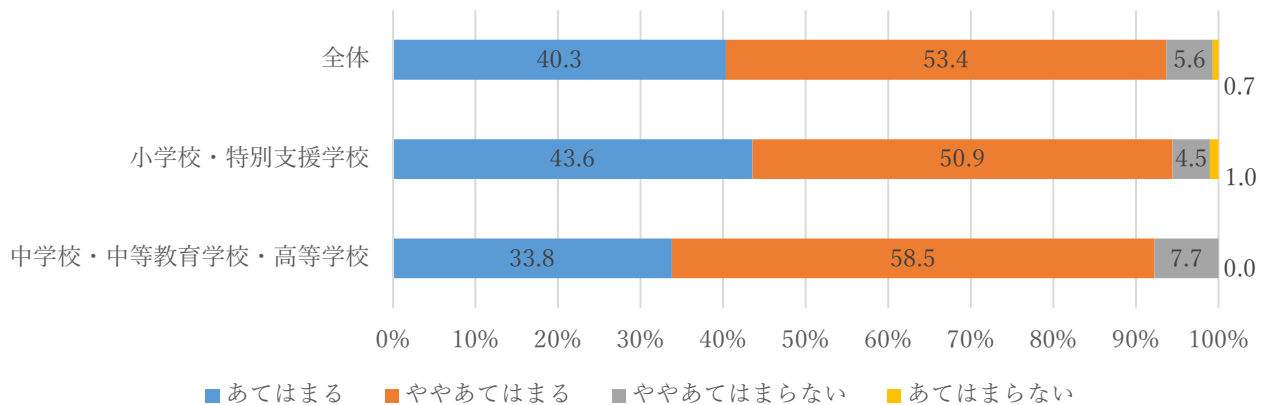


③ 管理職以外

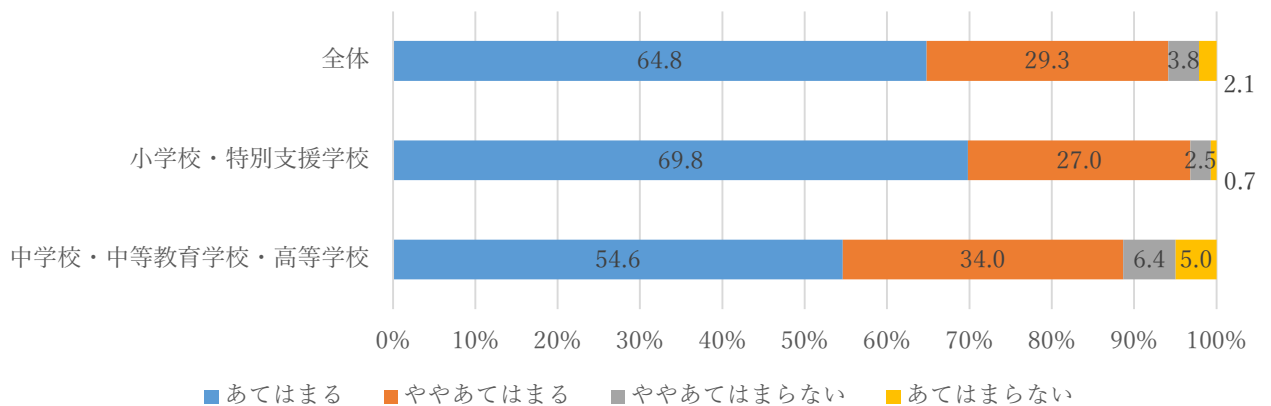
1 コミュニティ・スクールの役割や学校運営協議会で話し合われている内容を十分に理解している。



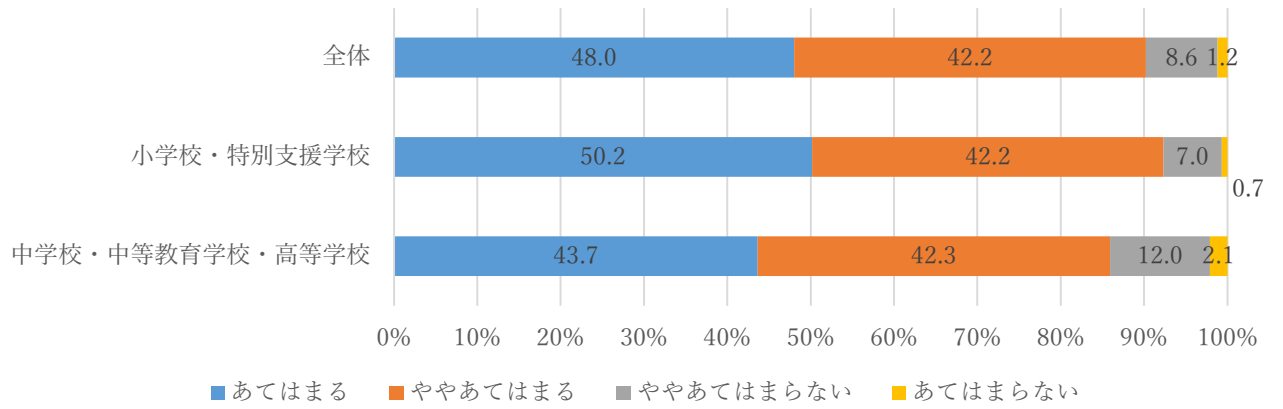
2 学校運営協議会で話し合われたことが、地域と学校パートナーシップ事業に生かされている。



3 地域教育コーディネーターとして求められている職務内容を依頼している。

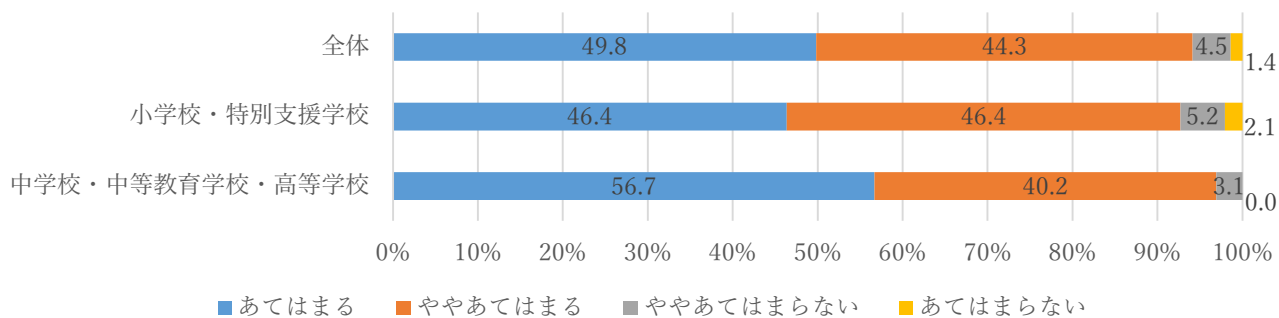


4 地域と学校パートナーシップ事業の充実のために、  
社会教育施設や企業、地域団体等と連携している。

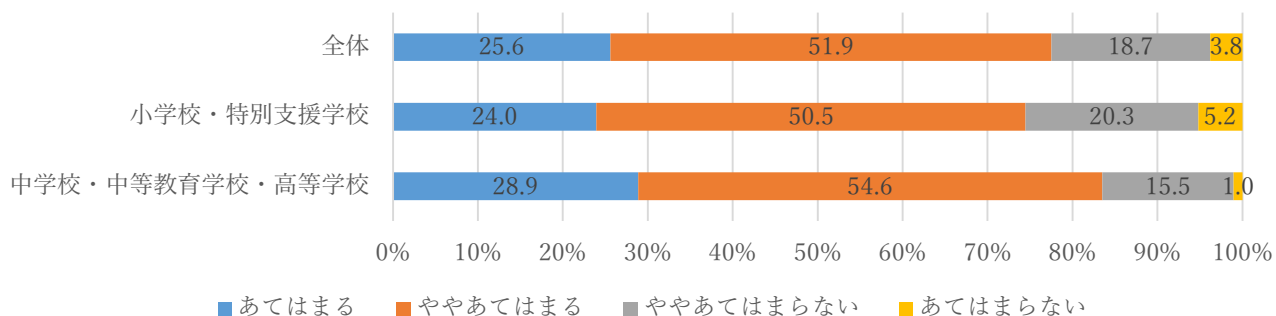


④ 地域教育コーディネーター

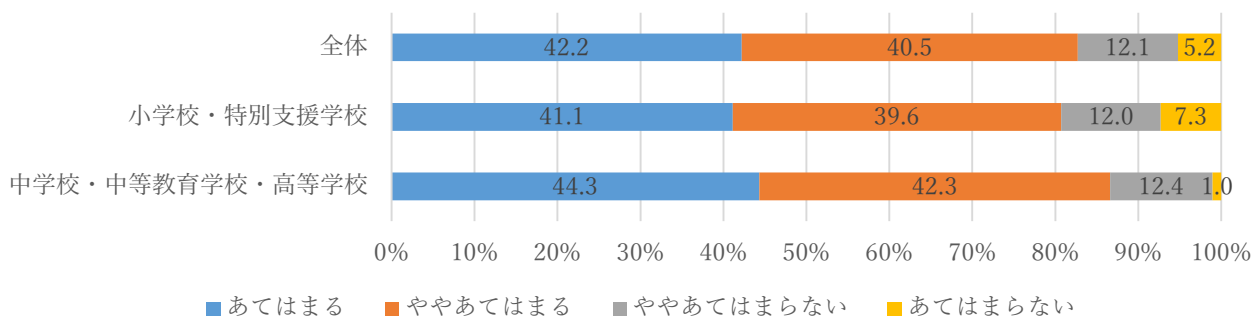
1 コミュニティ・スクールの役割や学校運営協議会で話し合われた内容を十分に理解している。



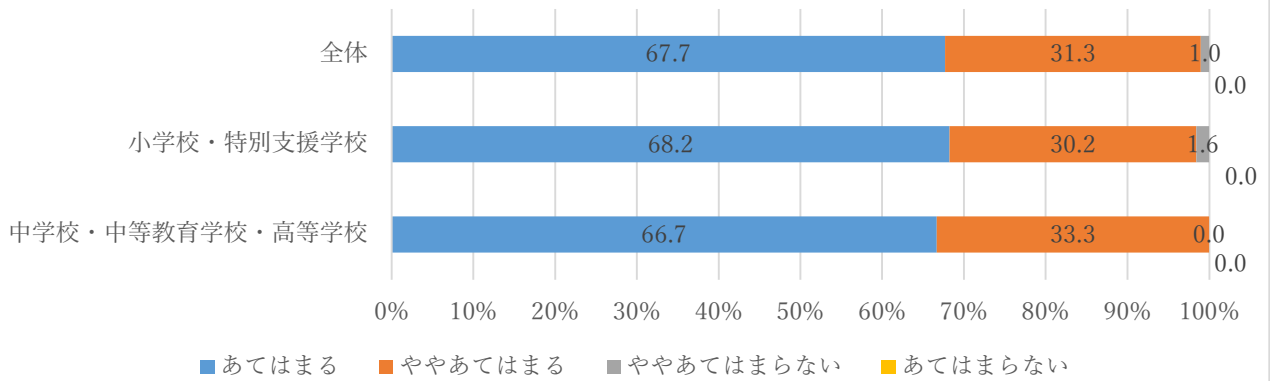
2 学校運営協議会で話し合われたことが、地域と学校パートナーシップ事業に活かされている。



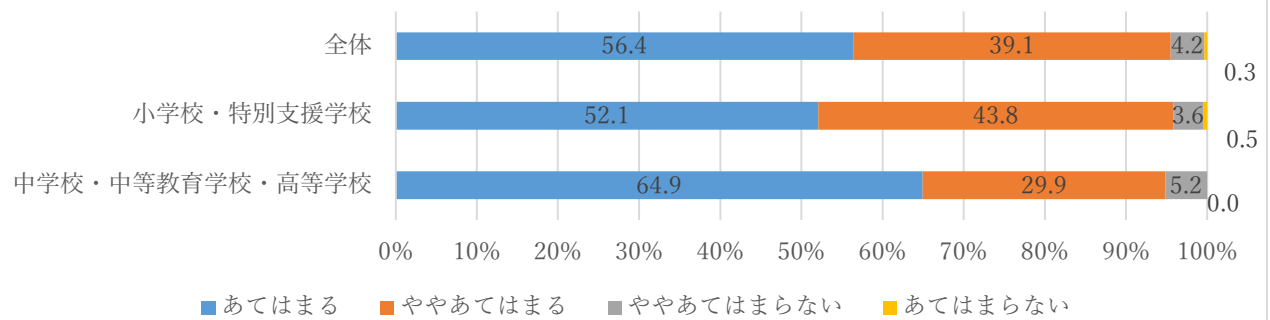
3 地域と学校パートナーシップ事業の成果と課題を学校運営協議会で振り返っている。



4 地域教育コーディネーターとして求められている職務内容を行っている。



5 地域と学校パートナーシップ事業の充実のために、社会教育施設や企業、地域団体等と連携している。



## 参考資料2

# 「令和6年度新潟市生活・学習意識調査」結果(一部抜粋)

### (1)実施主体

新潟市総合教育センター

### (2)調査の目的

- ① 新潟市内小学生及び中学生の生活実態や学習に対する意識に関わる調査を行い、新潟市全体の傾向を把握・分析する。
- ② 各学校に児童生徒の生活・学習指導改善や保護者啓発のための基礎資料を提供する。
- ③ 新潟市教育委員会の各課に、教育ビジョンや事業成果の達成状況を判断するための基礎資料を提供する。

### (3)調査対象

新潟市内の小中学校、中等教育学校の全児童・生徒

### (4)調査期間

令和6年11月7日(木)～令和6年11月15日(金)

### (5)調査内容

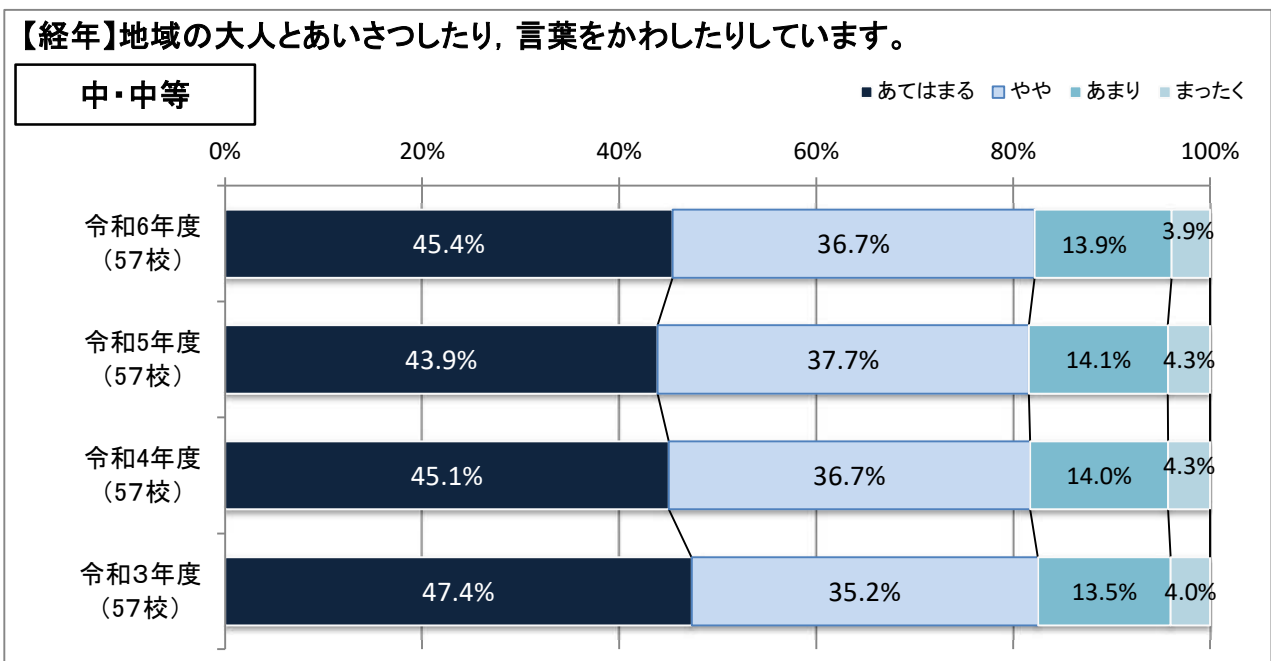
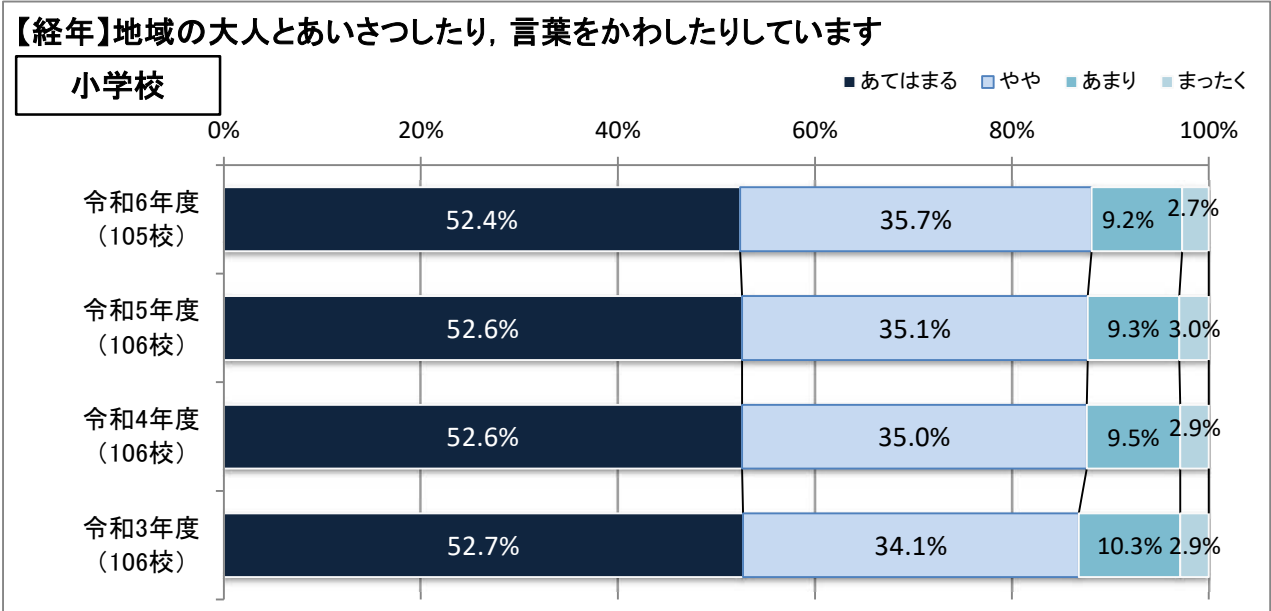
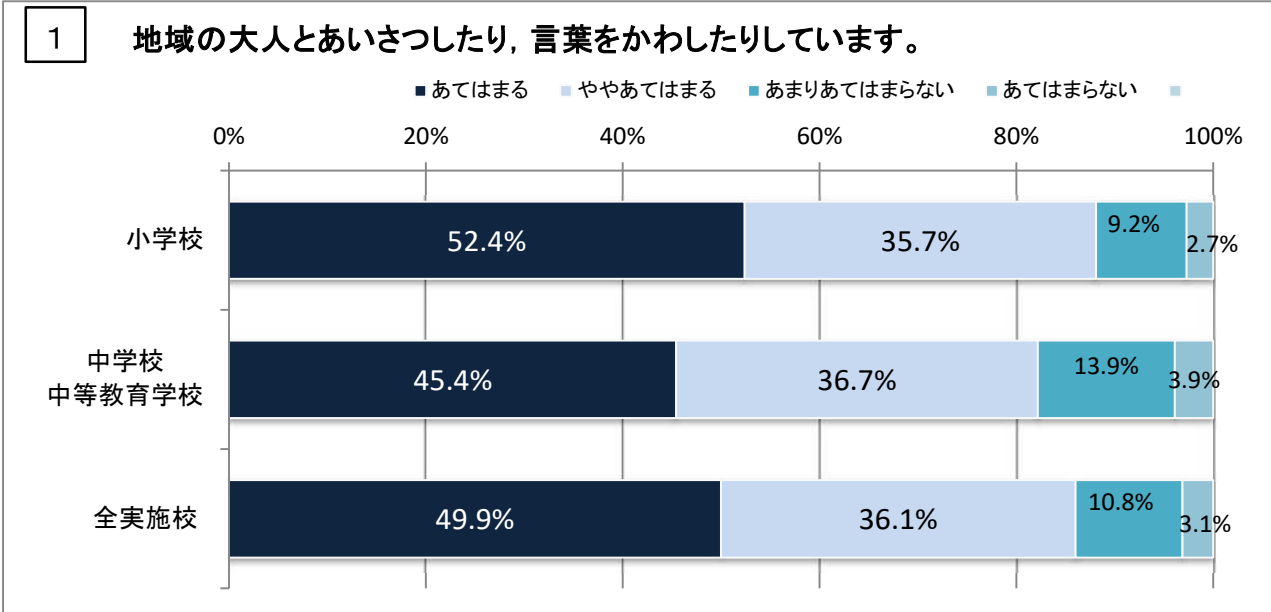
- ① 生活の様子  
小学校及び中学校25項目  
うち、「新潟市地域と学校パートナーシップ事業」関連1項目
- ② 学校での様子  
小学校及び中学校29項目  
うち、「新潟市地域と学校パートナーシップ事業」関連3項目
- ③ 学校独自(20項目以内)  
学校独自項目に「新潟市地域と学校パートナーシップ事業」関連なし

### (6)調査方法

Googleフォームによるデジタルアンケート

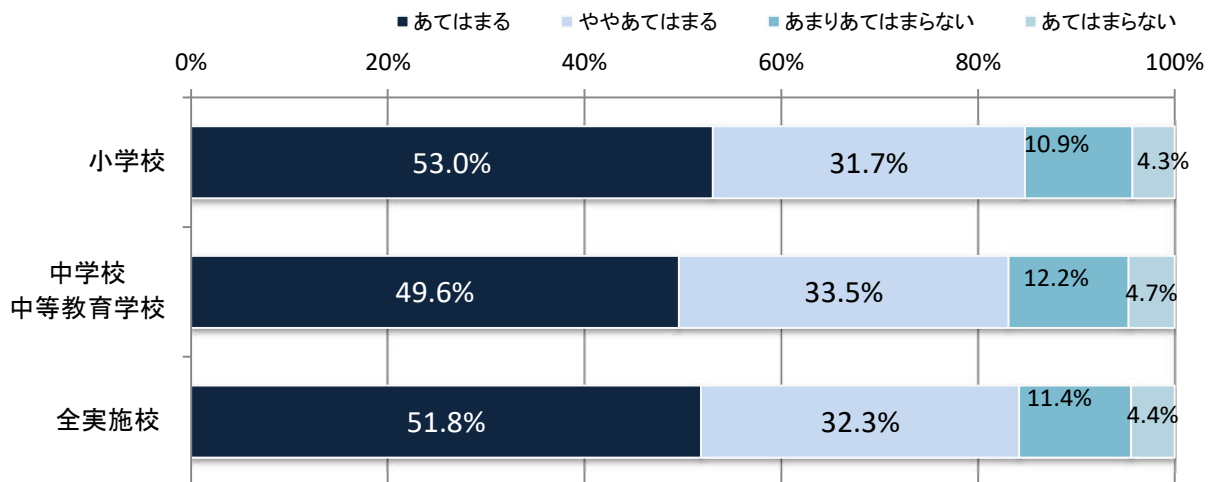
### (7)調査対象数(有効実数)

- ① 小学校 105校 28,184人  
(1年生2,583人, 2年生2,807人, 3年生5,697人, 4年生5,673人, 5年生5,884人, 6年生5,540人)
- ② 中学校・中等教育学校 57校 16,136人  
(1年生5,396人, 2年生5,399人, 3年生5,341人)



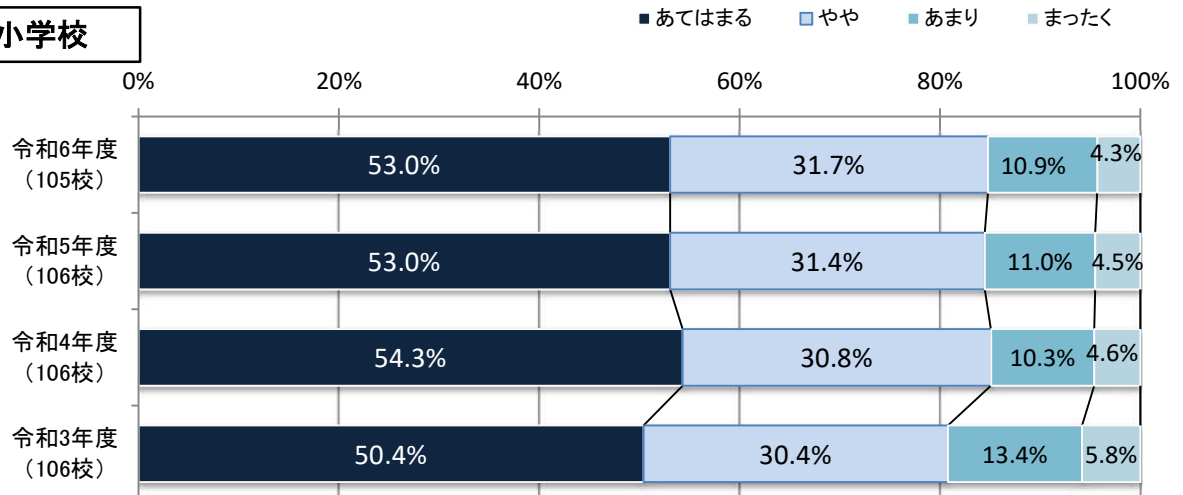
2

地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。



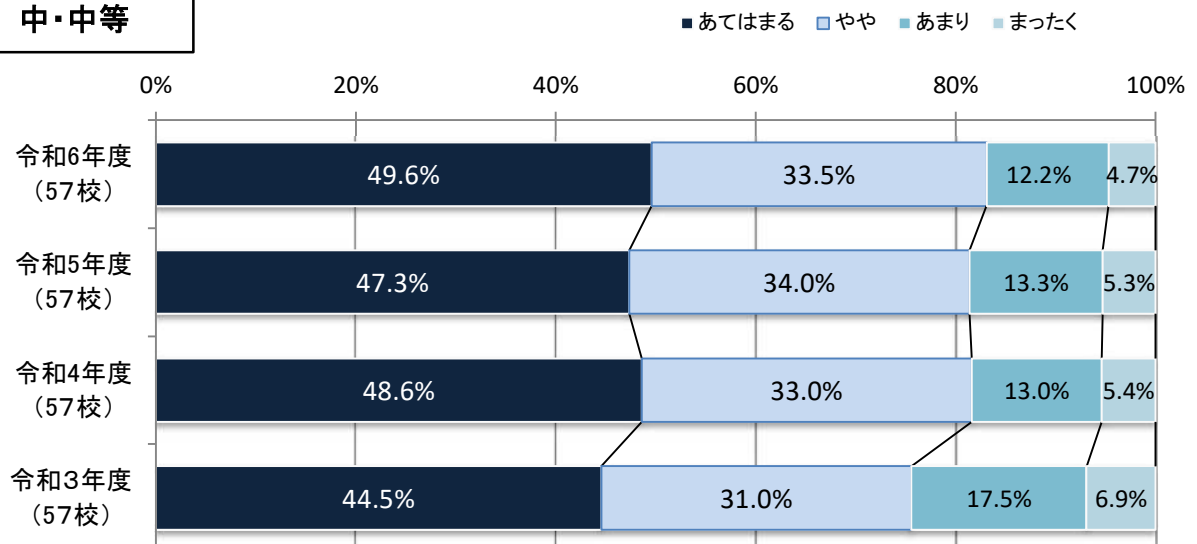
【経年】地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。

小学校



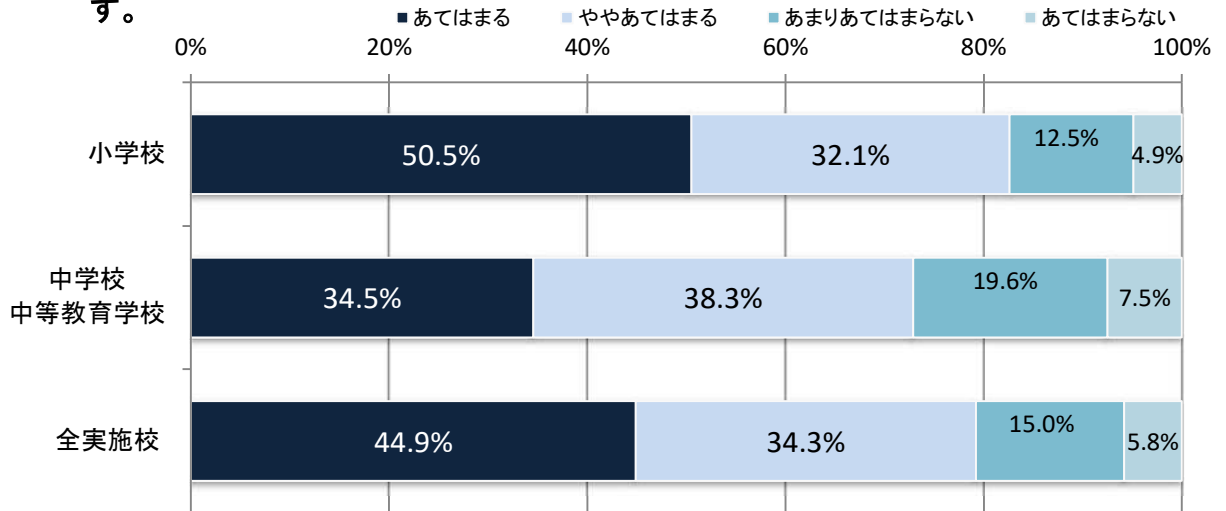
【経年】地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。

中・中等



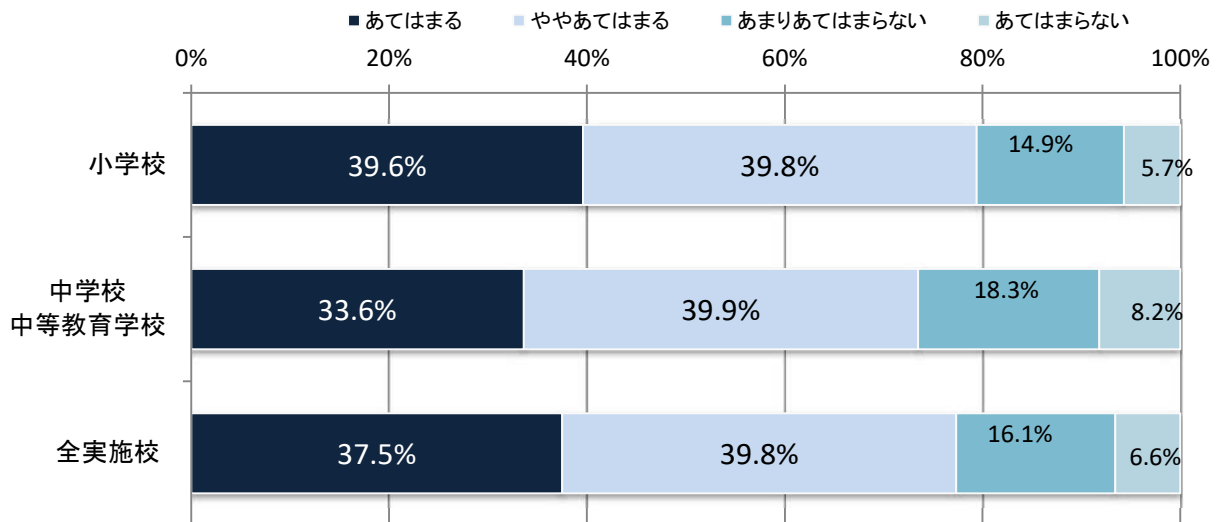
3

地域のこと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好きです。



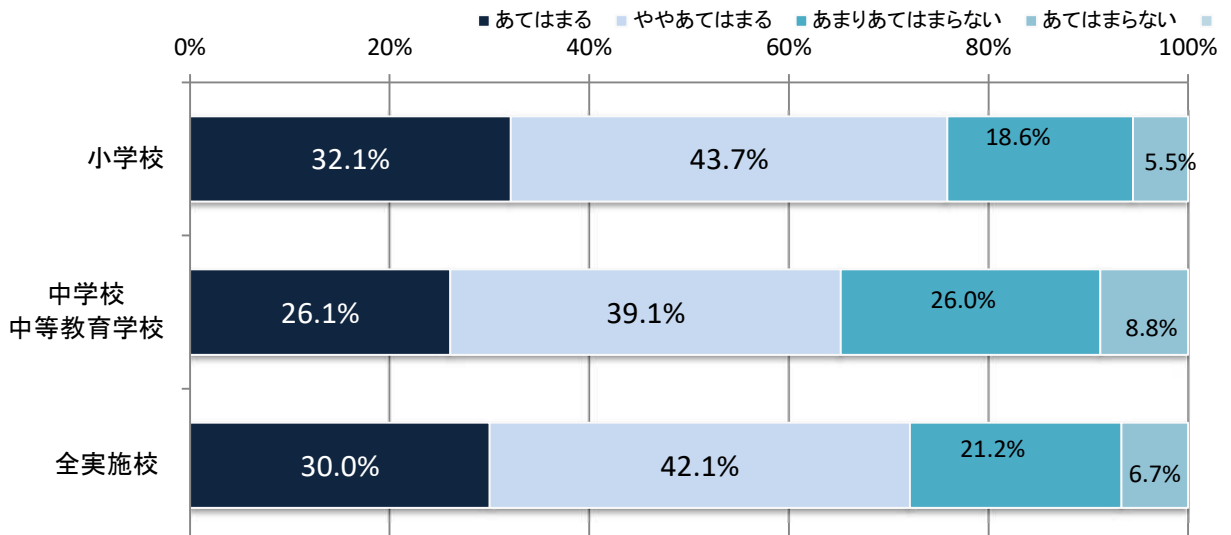
4

地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かったり、できたりすることがよくあります。



33

地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあります。



# 「令和6年度新潟市生活・学習意識調査」結果の設問に相関がある項目

1 地域の人々との関わりが深くなり、言葉が通じやすくなっています。 ※相関係数は、小中の平均

	強い相関がある項目	相関係数
20	学校で学んだことをふだんの生活の中で役立てています。	0.33
22	学習や生活のめあてをもって、毎日を過ごしています。	0.30
28	地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。	0.37
29	友達のよいところを見つけたり、友達が落ち込んでいるとき、はげましたりしています。	0.33
32	地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かったり、できたりすることがよくあります。	0.38
33	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあります。	0.33

2 地域や学校で先生以外の大人からはめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。

	強い相関がある項目	相関係数
20	学校で学んだことをふだんの生活の中で役立てています。	0.39
22	学習や生活のめあてをもって、毎日を過ごしています。	0.37
23	学習や生活において自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしています。	0.34
24	自分にはよいところがあります。	0.36
26	学校生活は楽しい。	0.38
27	やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあります。	0.65
29	友達のよいところを見つけたり、友達が落ちこんでいるとき、はげましたりしています。	0.43
30	学校生活で、友達と力を合わせて学習したり活動したりしています。	0.42
32	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあります。	0.49
33	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあります。	0.39
45	授業で、ペアやグループで話し合う活動は好きです。	0.34
52	授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	0.38

3 地域のこと(自然・歴史・産業など)にふれたり、調べたりする学習は好きです。

	強い相関がある項目	相関係数
20	学校で学んだことをふだんの生活の中で役立てています。	0.37
22	学習や生活のめあてをもって、毎日を過ごしています。	0.36
25	様々な体験や学習を通して、農業への関心は高まりましたか。	0.45
30	学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています。	0.32
32	地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かったり、できたりすることがよくあります。	0.43
33	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあります。	0.48
34	国語の勉強は好きですか。	0.33
35	社会の勉強は好きですか。	0.45
40	社会の授業はよく分かりますか。	0.36
45	授業で、ペアやグループで話し合う活動は好きです。	0.33
52	授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	0.39

4 地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かったり、できたりすることがよくあります。

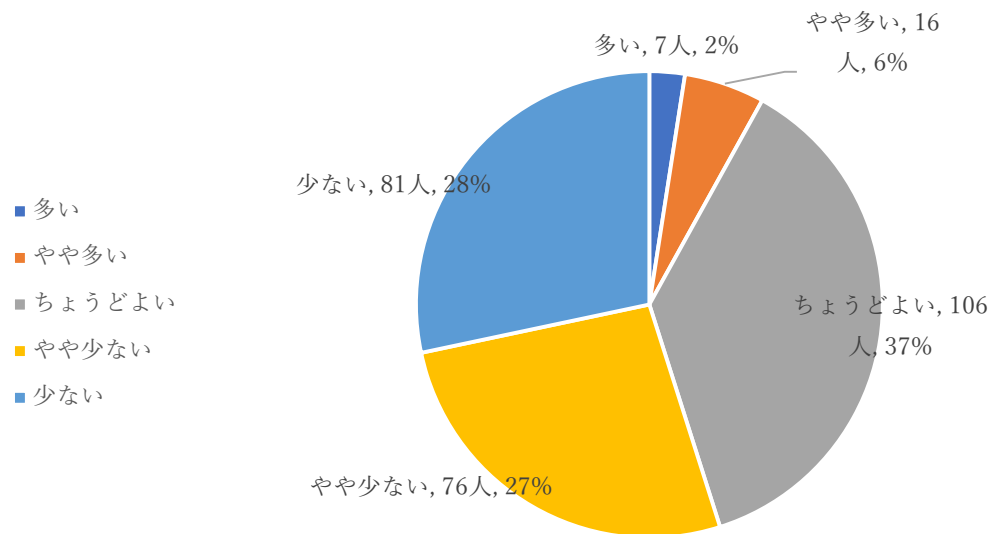
	強い相関がある項目	相関係数
20	学校で学んだことをふだんの生活の中で役立てています。	0.42
22	学習や生活のめあてをもって、毎日を過ごしています。	0.40
23	学習や生活において自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしています。	0.37
25	様々な体験や学習を通して、農業への関心が高まりました。	0.38
27	やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあります。	0.38
29	学校生活で、友達と力を合わせて学習したり、活動したりしています。	0.36
30	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあります。	0.37
33	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあります。	0.51
45	授業で、ペアやグループで話し合う活動は好きです。	0.34
52	授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	0.42

※ 相関係数が0.2以上＝ゆるい相関関係 相関係数が0.3以上＝強い相関関係

### 参考資料 3

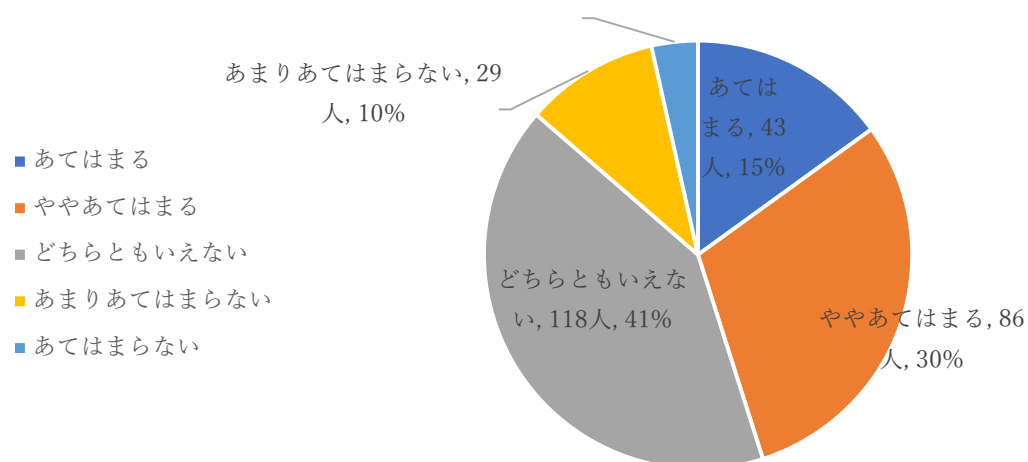
## 令和6年度 地域教育コーディネーターの勤務に関する調査結果

1 標準配当時間は現在の仕事内容・仕事量から考えて適切ですか。

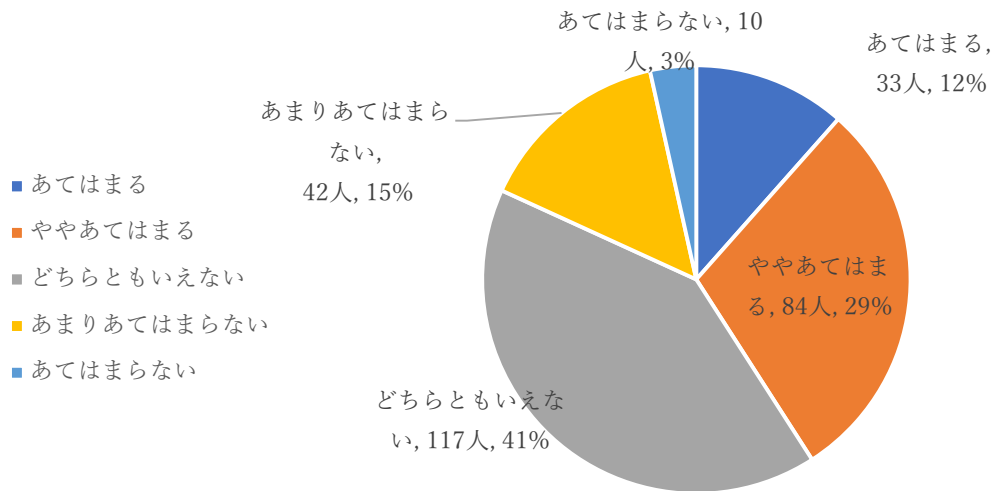


2 コーディネーターとしての仕事量が年々多くなっている。

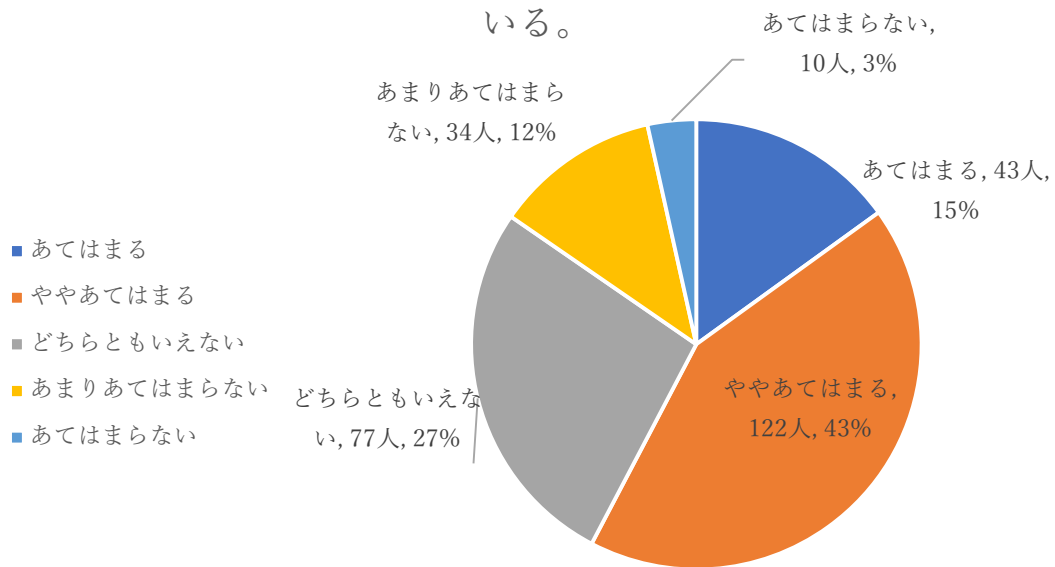
あてはまらない, 10人, 4%



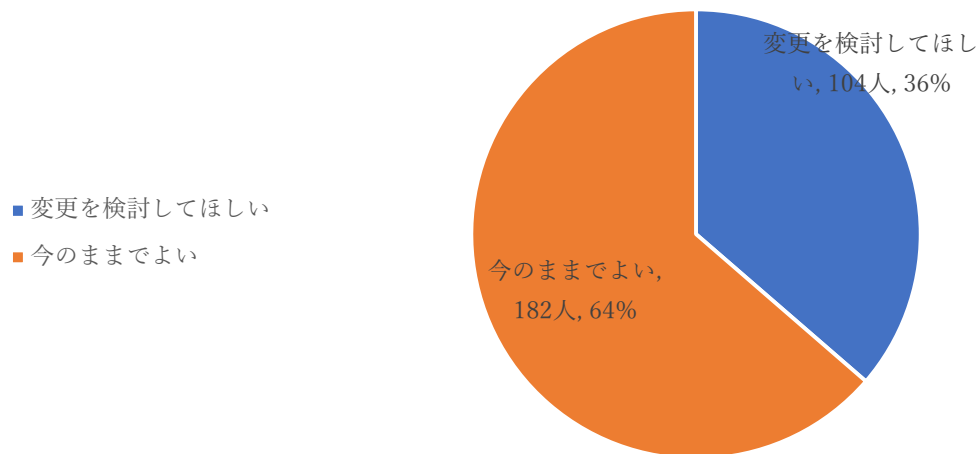
### 3 コーディネーターとしての仕事の種類が年々多くなっている。



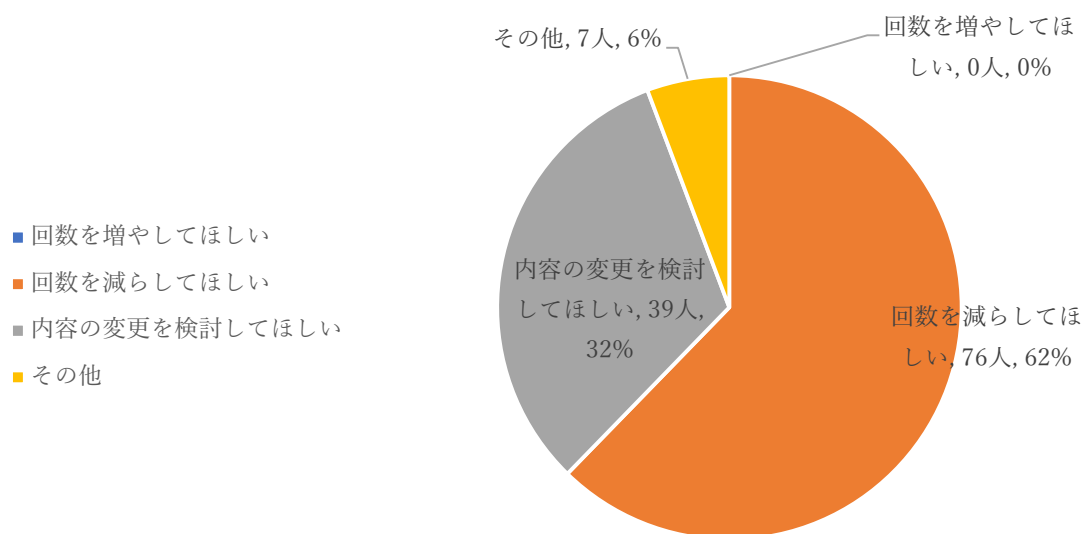
### 4 地域や社会教育施設との連携が多くなっている。



5 現在実施している研修（パートナーシップ事業  
研修年間2回、区研修、新任CO研修年間2回）に  
ついて教えてください。



6 「5」で「変更を検討してほしい」と答えた方  
のみお答えください。（複数選択）



7 地域と学校パートナーシップ事業の周知はどのようにしていますか。

